

2021年 春季研究大会 プログラム

5月15日(土) 研究大会 (オンライン開催)

5月16日(日) 研究大会 (オンライン開催)

【共通テーマ】

危機の時代の政治・法律・公共政策:

変容する社会に対応して

【理事長メッセージ】

年度も改まり、桜花爛漫、新しい時代への息吹に季節は満ち溢れております。

しかしながら、陽光きらめく春の景色とは裏腹に、新型コロナ・ウィルスの流行する中での二度目の春を迎えております。

既に、緊急事態宣言は二度目の発出を数え、まん延防止等重点措置も初の適用を見ることとなりました。いまだ世界は危機の中にあるといてよいと思います。経済対策と感染対策という、相反する要請の中で、日本の政治・法律・公共政策は、厳しい綱渡りを続けており、時に政府の政策は批判の対象となっています。

昨年秋に発足した菅義偉首相を首班とする内閣は、就任後、6か月を超える政策運営を行ってきました。その中で、国難とされた新型コロナ・ウィルスへの対策も、ワクチンの導入などの成果を挙げてはいるものの、いまだ予断を許さない状況にあります。

そうしたなかで、7月4日には、首都である東京都の都議会議員選挙(都議選)が予定されており、さらに10月21日の衆院議員の任期満了までのいずれかの時点で、政権選択の選挙となる衆議院議員総選挙(衆院選)が行われるという政治日程だけが、厳然たる事実として横たわっている状況にあるのが現在の日本政治ということも出来ましょう。

さらに、新型コロナ・ウィルスの感染拡大と関連して、東京オリンピック・パラリンピックの開催といった国家的な政策課題も存在しております。この運営を巡っては、ジェンダーにまつわると解釈された発言により、実行委員会においてトップの交代が起こったことも記憶に新しいです。

こうした多様な課題を抱えた「危機の時代」における政治・法律・公共政策の課題を今般の研究大会では検討する機会を得ました。

ジェンダーの課題としての女性の政界進出を考える「女性と政治」パネルでは、近年、地方議会において、議会の正副議長が女性で占められるという事例がございました。男性優位といわれる政界の中で、女性の政界進出の課題とは何か、そうした問題を皆様と共有したいと存じます。

そして講義を行っている会員の皆様の悩みは、18歳選挙権が導入されているにもかかわらず、若年層の投票率が上がらないということがあると存じます。大学生1年生などの新有権者が投票に行かないのには、原因があると考えられます。そのうちの大きなものは、政治的な情報に触れていないということだろうと考えられます。そこで、主権者教育の一環として、来る都議選、そして続く衆院選に向けて、各政党の代表者から、それぞれの政党の政策をお話し賜り、「明日の東京と日本を考える大演説会」を開催し、政治に少しでも興味を持ってもらうということを試みたいと存じます。「東京が変われば日本が変わる」としばしばいわれるところです。都議選はそのあとに続く衆院選を予示するとしばしばいわれます。

「東京が変われば日本が変わる」という言葉は、日本の政治の中では、半ば常識として語られてまいりまし

た。1989年の社会党の躍進は、続くマドンナブームによる社会党躍進の火付け役となりましたし、1993年の日本新党の都議会での躍進は、政界再編の起爆剤となりましたし、2001年は小泉ブームの中自民圧勝、郵政民営化を導くこととなり、2009年の民主党の圧勝は、政権交代に続く物語のプレリュードとなりました。今年には都議選の後に、衆院選が予定されており、都議選の結果は衆院選を占うものともなると考えられます。まさに、「東京が変われば日本が変わる」という選挙になるかもしれません。会員の皆様におかれましては、この機会を教育に存分にお役立ていただければと存じます。

また学会賞も、今回も各領域の代表者に受賞していただくこととなりました。今回の学会賞としましては、現代政治学会賞としては、国際 NPO などの国際政治学の研究に寄与されてきた一橋大学名誉教授の大芝亮先生、現代法律学会賞としては、本学会のチャーター・メンバーであり、会の発展に貢献された刑法の島根大学名誉教授の林弘正先生、現代公共政策学会賞は、日本におけるレギュレーション学派の創立者の一人である政治経済学の発展に貢献された名古屋大学名誉教授の山田鋭夫先生、そして報道学会賞は地域の政治、法律、公共政策の報道に貢献するところ大であった上毛新聞代表取締役社長の内山充先生にお引き受け賜りました。受賞者の皆様のこれまでの業績を顕彰もうしあげるとともに、ご講演を通じて、その高い知見を会員の共通の財産とさせていただきたいと存じます。

そして、政治家のご講演も、行政改革担当大臣を務めたのちに、いわゆる「第三極」を先導したみんなの党を率いた渡辺喜美参議院議員、日本の PKO の白眉であった自衛隊のイラクへの派遣の指揮を執られた「ヒゲの隊長」佐藤正久参議院議員に、それぞれお話し賜ることとなっております。

コロナ禍の開催でもあり、オンラインを中心としますが、オンサイトでは高崎経済大学に開催校をお引き受けいただきました。開催校理事の金光寛之先生、そして八木橋慶一先生におかれましては、並々ならぬご努力を賜りましたこと、篤く御礼申し上げます。

今年の NHK 大河ドラマは日本の殖産興業の偉人である渋沢栄一であります。群馬には渋沢にゆかりの深い、富岡製糸場がございまして、そちらの方は、金曜日のエクスカッションで訪問する予定でございます。

危機の時代に新たな時代を切り開いていった渋沢の息吹を感じながら、今年も多くの皆様のご参加、ログインをお待ち申し上げます。

2021年
春吉日

日本政治法律学会
理事長
法政大学
白鳥 浩

*新型コロナ・ウィルス感染症拡大のために、今回の懇親会は、残念ですが開催されません。

*理事会・研究会のオンサイトのご参加に関する出欠のご連絡は、別途事務局より参ります。

*新型コロナ・ウィルス感染症の蔓延を防止するために、ご協力をお願い申し上げます。

5月15日(土)

	日本現代政治学会	日本現代法律学会	日本現代公共政策学会
8:45-9:00	開会式		
9:00-10:30	<p style="text-align: center;">【政治】自由論題 YouTube ライブ配信</p> <p>司会：杉田弘也（神奈川大学） 報告： 杉谷和哉（岩手県立大学） ：行政事業レビューの再定位— 「日本型EBPM」の一環としての機能に着目して— 桶本秀和（城西大学） ：太陽光発電の規制に関する自治体の政治過程（仮称）： 黒木美來（駿河台大学） ：「欧州議会」の創設を求めて—欧州審議会設立過程における国際圧力団体の役割— 討論： 桐谷仁（静岡大学） 縣公一郎（早稲田大学） 三澤真明（日本大学）</p>	<p style="text-align: center;">【法律】自由論題</p> <p>司会：松野民雄（城西大学） 報告： 四條北斗（大阪経済大学） ：ストーキング被害者の自殺への追い込みの刑事責任： 渡部朗子（高岡法科大学） ：成年後見制度における身上監護と意思決定支援： 討論：林弘正（島根大学） 金光寛之（高崎経済大学）</p>	<p style="text-align: center;">【公共政策】自由論題</p> <p>司会：中井歩（京都産業大学） 報告： 松尾和弥（衆議院議員政策担当秘書） ：東京一極集中是正と地方の持続可能性—対馬市と梶原町を事例として— ： 佐藤亮司（地方公務員） ：岩手県滝沢（村）市の総合計画策定・行政運営の考察—社会指標型ベンチマーキングから幸福度指標への転換— 討論： 竹内直人（京都橘大学） 長澤興祐（足立区議会議員）</p>
10:40-12:10	<p style="text-align: center;">ジェンダー・パネル 女性と政治：なぜ女性議員は少ないのか YouTube ライブ配信</p> <p>司会：古橋エツ子（花園大学） 報告：高橋たい子（宮城県柴田町議会議長） 平間奈緒美（宮城県柴田町議会副議長） 討論：神尾真知子（日本大学）</p>		
12:15-12:45	日本政治法律学会理事会 / 昼食		
12:45-13:00	総会		
13:00-16:30	<p style="text-align: center;">学会賞ご講演 YouTube ライブ配信</p> <p>開催校からのご挨拶：水口剛（高崎経済大学学長） ＜報道学会賞＞内山充（上毛新聞代表取締役社長） 「4 首相と地方紙記者」 プレゼンター：白鳥浩（法政大学・日本政治法律学会理事長） ＜現代公共政策学会賞＞山田鋭夫（名古屋大学名誉教授） 「レギュレーションの政治経済学」 プレゼンター：贅育子（一宮研伸大学・日本現代公共政策学会会長） ＜現代政治学会賞＞大芝亮（一橋大学名誉教授、広島市立大学・広島平和研究所所長） 「グローバル・ガバナンス論について」 プレゼンター：芦立秀朗（京都産業大学・日本現代政治学会会長） ＜現代法律学会賞＞林弘正（島根大学名誉教授） 「非侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)の喫緊の課題—研究視点：対象と資料—」 プレゼンター：松野民雄（城西大学）</p>		
16:40-17:40	<p style="text-align: center;">ご講演 YouTube ライブ配信</p> <p>講演：渡辺喜美（参議院議員、元みんなの党代表、元行政改革担当大臣）：演題「1940年体制の亡霊」 司会：島田敏男（NHK 放送文化研究所） 討論：新川達郎（同志社大学） 川野秀之（玉川大学）</p>		

5月16日(日)

	日本現代政治学会	日本現代法律学会	日本現代公共政策学会
9:00-12:00 (*質疑応答に より最大12: 30まで)	政策演説会『『明日の東京と日本を考える』大討論会』 YouTube ライブ配信		
	司会：白鳥浩（法政大学） ご登壇：川松真一郎（都議会議員、自民党） 竹谷とし子（参議院議員、公明党） 西沢けいた（都議会議員、立憲民主党） 和泉なおみ（都議会議員、日本共産党東京都議会議員団幹事長） 福島みずほ（参議院議員、社民党代表） 音喜多駿（参議院議員、日本維新の会） 山田ひろし（都議会議員、都民ファーストの会） 山内れい子（都議会議員、生活者ネットワーク） 玉木雄一郎（衆議院議員、国民民主党代表） 討論：高山晶一（東京新聞政治部部長） 杉谷剛（東京新聞社会部部長）		
12:00-13:00	【政治】 理事会 / 昼食	【法律】 理事会 / 昼食	【公共政策】 理事会 / 昼食
13:00-14:30	国際交流パネル（中国語パネル） 「日本の新聞は 中国の情勢をどう伝えたか： 新型コロナ・ウィルスを事例に」 （*本パネルは中国語で行われ 13:30開始です） 司会：朱健榮（東洋学園大学） 報告：譚茜文（法政大学大学院） ：読売新聞に見る中国報道： 周佳螢（法政大学大学院） ：朝日新聞に見る中国報道： 討論：熊達雲（山梨学院大学）	私法パネル 「死後事務委任-おひとり様時代の 新しい終活-」 司会：中村良（日本大学） 報告：北見万幸（横須賀市福祉部福 祉専門官） ：横須賀市の終活支援-行政がで きる周没期の課題解決-その意義と法 理論的課題： 谷口聡（高崎経済大学） 討論：八木橋慶一（高崎経済大学）	健康・福祉政策パネル： 東アジアにおける薬物政策 YouTube ライブ配信 司会：筈米地真理（衆議院議員政策 担当秘書） 報告： ① 真殿仁美（城西大学） ：中国薬物政策の現状～健康・福祉 の阻害要因への対応： ② 崔学松（静岡文化芸術大学） ：植民地台湾のアヘンと国際アヘン 問題から見る健康・福祉： ③ 権寧俊（新潟県立大学） ：韓国における健康・福祉政策の過 去と現在：アヘンと大麻問題を中心 に： ④ 田中徹（厚生労働省） ：日本における薬物政策： 討論： 内田知行（大東文化大学） 宮畑加奈子（広島経済大学） 関本紀子（大妻女子大学）
14:40-16:10	【リモートデモクラシーの発展】 司会：丹羽功（近畿大学） 報告： 川代秀弘（法政大学大学院） ：リモート・デモクラシー下にお ける選挙啓発の一考察： 宮崎一徳（参議院） ：リモートデモクラシーの軌跡： 討論：岡本哲和（関西大学） 芦立秀朗（京都産業大学）	法律改正過程の検討パネル 司会：小林幸夫（玉川大学） 報告：上野純也（城西大学） ：少年法改正過程の検討-少年法改 正過程の検討-少年法等の一部を改 正する法律案令和3年を素材に： 和田美智代（新見公立大学） ：民法（親子法制）改正過程の検討： 討論：林弘正（島根大学） 松野民雄（城西大学）	
16:20-17:20	ご講演 佐藤正久（参議院議員、自民党）：演題「我が国を巡る安全保障情勢」 司会：伊藤之雄（京都大学） 討論：鈴木美勝（元時事通信） 山田啓二（京都産業大学、前京都府知事） 山崎将文（京都橘大学）		
17:20-17:30	閉会式		

国際政治特別パネル「アフリカ研究の現在：TICAD8とFOIP、Sahel（サハラ南縁）」5月16日（日）13:00-14:30

司会：片岡貞治（早稲田大学）

報告：中村宏毅（在南アフリカ日本国大使館政務班書記官）「TICADプロセスの歴史と昨今の発展」

上江洲佐代子（政策研究大学院大学）「サヘルから西アフリカへの脅威の拡大～テロ研究と地域研究の間」

長辻貴之（早稲田大学）「中国のアフリカへの新しい関わり-モデル国としてのセネガル」

討論：白戸圭一（立命館大学）